

事業所名

ひまわりルーム（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025年

1月

14日

法人（事業所）理念		誰もが安心して、自分らしい人生を歩むことができ、笑顔で暮らせる共生社会の実現をめざして、支援を必要としている子どもや親が共に育ちあう場を作ります。			
支援方針		小集団や個別対応をする中で、基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練など、個々の発達や特性に合わせた支援をします。集団の中で、より過ごしやすく、楽しい集団生活を送れるように、小学校生活への準備等をしていきます。利用者一人ひとりの願いや個性・発達段階を大切に、日常生活に必要な基本的なマナーやコミュニケーション、社会性を学ぶ場を提供しています。包括的な支援に心がけ、子ども達が社会的な自立をめざしていけるよう、ご家族の方が安心できる質の高い療育支援を目指していきます。			
営業時間		金曜日 10 時 0 分から 12 時 30 分まで			
		時	分から	時	分まで
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所時の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の状態に気づけるよう観察を行います。</li> <li>登降所時の身辺処理（靴の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など）を子ども達の実態に合わせ支援し、習慣化できるようにしています。</li> <li>活動の流れや活動内容の説明などは視覚支援を用いるなどして、分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援します。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外・屋内での運動やゲームなどで体を使う課題を仕組み、身体機能の維持・向上を図ります。</li> <li>集団活動や製作活動を通して、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分活用できるように様々な体験を提供し、支援します。</li> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能に対する支援を行います。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>色や数字、物品など様々な概念形成にむけ、特性や発達段階に応じた課題を活動に入れていきます。</li> <li>認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで自己肯定感をもてるように支援します。</li> <li>環境を整え、認知でき、解釈して動けるように環境を整え、安心して過ごせるよう支援します。</li> <li>集団活動や製作活動の中で、各感覚を刺激し、興味の幅を広げることができるよう支援します。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の特性や発達段階に応じた課題を設定し、読み書きの能力の向上を図ります。</li> <li>集団活動を通して、他者とのやり取りの場を設定し、場合により職員が間に入り、コミュニケーションの楽しさが実感できるよう支援します。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いに寄り添った言葉かけに努め、安心して聞いたり、頼んだりできる職員との関係形成を図ります。</li> <li>他者交流の経験が持てるように、職員が仲立ちをしたり、モデルとなって支援します。</li> <li>活動を通して、ルールや順番を守ること、協調した関わりをもてるように支援します。</li> <li>他者との適切な距離感が身につけられるように、適宜声かけを行い、良好な関係形成を支援します。</li> </ul>			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>面談、送迎時、連絡帳などで、本人や家族の思いを聞き情報共有したことを支援に活かしていきます。また、関係機関との連携も図っていきます。</li> <li>就学などに関わっての本人や家族への相談援助を行います。</li> </ul>	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>就学に関わっての本人や家族、在籍する園（所）への相談援助や関係機関との情報交換や担当者会議を行い包括的な支援ができるよう環境を作り、支援します。</li> <li>移行に向けての支援目標や支援内容を設定して、移行に向けた準備を行っていきます。</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>各関係機関との情報共有、連携を図り、支援の方向性を統一していきます。</li> <li>ひまわり祭りを開催するなど、地域の方に子どもたちの頑張りが姿を見ていただき、知ってもらいます。</li> </ul>	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な研修（児童発達支援連絡協議会）へ参加し、ケース検討などを通して最新の知識や実践的なスキルを学んでいます。</li> <li>定期的な評価とフィードバックを通して、多角的な視点から職員の成長を支援しています。</li> </ul>
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節行事に関わるイベント</li> <li>所外での活動や散策</li> </ul>			

事業所名

ひまわりルーム（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2024年

1月

6日

法人（事業所）理念		誰もが安心して、自分らしい人生を歩むことができ、笑顔で暮らせる共生社会の実現をめざして、支援を必要としている子どもや親が共に育ちあう場を作ります。				
支援方針		利用者一人ひとりの願いや個性・発達段階を大切に、個々への支援や集団支援を通して、日常生活に必要な基本的なマナーやコミュニケーション、社会性を学ぶ場を提供しています。ご家族様への相談援助や、関係機関との連携など包括的な支援に心がけ、子ども達が社会的な自立をめざしていけるよう、ご家族の方が安心できる質の高い療育支援を目指していきます。				
営業時間		平日	10時30分から	17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし
		土曜日 長期休業	10時00分から	16時00分まで		
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な日常生活習慣（検温やあいさつ、靴の片づけ、手洗い等）・動作を意識して活動できるようにすきことやスケジュールを提示し、自分で確認し自発的にできるように支援します。</li> <li>集団で過ごすためのルールやマナーを守る等、一人ひとりの発達段階・特性に応じた具体的な声かけをしていきます。</li> <li>できたことをしっかり評価し、成功体験につなげるサポートを行い、自分で「やってみよう」「できた」と感じられるよう、より多くの成功体験を得られるよう支援します。</li> <li>宿題の習慣化ができるように、子どもの学び方を知った上で、環境調整や量・時間の調整やプリントの拡大等の配慮をし、「やった!」「できた!」が実感できるように支援を検討していきます。</li> </ul>				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール遊び、鬼ごっこ、道具（遊具）を使った遊びや砂遊び等を通して基礎体力や粗大・微細運動、空間把握、道具操作の力を身につけ身体をうまく使えるように支援していきます。</li> <li>調理活動、段ボール工作や壁面飾り等の制作活動を通して手指の巧緻性や道具操作・空間認知の力を身につけられるようにします。</li> <li>感覚や認知の偏りなど個々の特性に配慮し、季節の変化を感じられるようなところへ出かけ、実際に見たり触ったりすることで個々の感性を大切にしていきます。必要に応じて刺激となる物を置かず、環境刺激を少なくし行動障害を予防します。</li> </ul>				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>色や数字、物品など様々な概念獲得に向け、利用者様の特性や能力を観察し、課題の提供をしたり活動に組み込んでいきます。</li> <li>集団活動や製作活動を通して各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。</li> <li>集団活動の中で他者とのやり取りの場を提供し、自分の言動や友だちのいい所などを一緒に話すなど職員が間に入り援助し、自己認知や他者理解ができるようにをします。話しやすい職員となるように人間関係を築いていきます。</li> <li>活動の内容やスケジュールをイラストなどで提示し、目で見て理解し行動ができるように支援します。</li> <li>宿題応援では、子どもと話をしスケジュール・やることを決め、見通しをもって集中してやり終えることができるよう環境調整をする等の支援をします。</li> </ul>				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動（公園遊び・カードゲームなど）を通して、勝ち負けにこだわらず、折り合いのつけ方を学んでいけるように支援します。</li> <li>友達との関わりの中で、他者とのやり取りの楽しさを感じ、自分の思い・意見が言えるように、職員が間に入り援助、支援します。</li> <li>本人の気持ちを受け止めながら、「この時は、〇〇と伝えたいよ」など具体的な言葉を本人に伝えてたり、選択肢を提示したりし、相手がどのように考えているのかなど質問できたり、自分の言葉で答えられるように促し、必要なことばを増やしていけるように支援します。思いが言えた際には、しっかりと認めています。</li> </ul>				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の中で友達との関りを通して感情をうまくコントロールできるように、本人の思いをしっかりと聴いて、助言等をするなどの支援を行っていきます。</li> <li>人との接し方を学べる機会を用意し、「人にものを頼む」「うまく謝る」「うまく断る」などの力を身につけられるように支援します。</li> <li>問題をうまく解決することができるように 困ったことに直面した時どうするか、次からどうするかを子どもの気持ちに寄り添い一緒に考えていきます。また、困った時は指導員に言いやすい人間関係を築いていきます。</li> <li>自己肯定感が向上し、のびのびと自分らしく過ごせるような時間や場を提供し、想いが表現できる場になるようにします。</li> </ul>				
家族支援	面談、送迎時の会話、連絡帳などで、本人や家族の思いを聞き情報共有をし、支援に活かしていきます。また、関係機関との連携も図っていきます。	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や関連する医療・福祉施設、相談支援専門員との連携をし、包括的に支援できる環境を作り支援します。</li> <li>必要により担当者会議や支援会議を行い、支援に活かしていきます。</li> </ul>			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公園で活動を通して地域住民の方々との関わりを大切にしていきます。</li> <li>ひまわり祭を通して、地域の方に子どもたちの頑張りを姿を見ていただき、交流の機会を提供していきます。</li> <li>保育所等訪問支援員との連携を通して学校での生活が充実するように支援していきます。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の事業所会議や定期的な研修（月に1回が基本）や事例検討を通して最新の知識や実践的なスキルを学んでいます。</li> <li>定期的な評価とフィードバックを通して、多角的な視点から職員の成長を支援しています。</li> <li>事業所合同での管理者・児童発達支援管理責任者会議の実施・研修の企画をする。</li> </ul>			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節行事に関わるイベント</li> <li>ひまわり祭り（年1回）・・・子ども達と計画・準備し、当日の販売等に関わる。</li> <li>スポーツ交流会・・・ひまわり系列の事業所合同のレクリエーション活動</li> <li>お楽しみ週間・・・月1回の活動内容を子ども達が決定し実施する。</li> </ul>					